

各事務・事業費の整理 (全員賛成で可決)

12月
定例会

平成29年12月定例会は、1
日から8日までの8日間の会
期で開かれました。

町長から提出された案件は
承認案1件、条例案2件、予
算案5件で、原案をすべて可
決しました。

議員発議1件については、
慎重審議を行った結果、可決
となりました。
一般質問には8議員が14項
目について活発な論戦を開
催し、町政を質しました。

補正予算

福祉巡回バス業務委託料

132万円増額

福祉巡回バスの契約を見直し
たことによる増額。

国土交通省からの指導を受
け、定額払いから運行便数に応
じた実績払いとするよう契約内
容の見直しを行うため、不用額
52万円を減額。

また、平成29年度に設置した
新バス停等の支払いについて、
5年間の分割払いから一括払い
へ変更するため184万円を増
額。合計132万円の増額。

障害児施設給付事業費
1,295万円増額

前年度より「児童発達支援」、
「放課後等デイサービス」等の
障がい児の通所支援利用者数及
び利用回数が増えていくことに
よる増額。
特に「放課後等デイサービス」
の利用者が増えている。

原田保育園食器洗浄機
購入 190万円

13年を経過した食器洗浄機が
故障し、修理もできないため、
買替えを行う。

宇美タンボ保育園運営
負担金 273万円増額

運営負担金の実績・見込額に
基づき増額。
増額の要因は、職員の技能・
経験に応じた追加的な処遇改善
の導入等による児童一人当たり
の給付額の増加。

荒廃森林整備工事請負費
(単独) 1,080万円増額

町と所有者とが協定を締結
し、25.49ヘクタールの森林の間
伐等を行う。

この事業は、森林環境税を活
用した福岡県荒廃森林再生事業
により、県費補助率100%で
実施する。

給食材料購入費(町立保育園)
▲206万円

学童保育所運営業務委託料
▲136万円

障害者自立支援給付事業費
▲2,857万円

減額補正された主なもの

保育士派遣業務委託料
▲369万円

認定こども園施設型給付費
負担金 ▲100万円

地域型保育給付費負担金
▲239万円

道路改良工事請負費(補助)
志免字美線街路事業負担金
▲7,300万円

昭和町更新住宅2棟
調査・解体・実施設計業務委託
▲2,350万円

私立幼稚園就園奨励費補助金
▲3,868万円

私立幼稚園就園奨励費補助金
▲578万円
(万円未満四捨五入)



荒廃森林再生事業

平成29年度一般会計補正予算(第4号) 1億2,383万円減額し総額113億7,424万円

専決処分の承認

平成29年度宇美町一般会計 補正予算(第3号)

衆議院議員総選挙の執行に伴い、緊急に補正予算を編成する必要が生じた。

歳入歳出それぞれ1,188万円を追加し、予算総額114億9,807万円となつた。

(全員賛成で承認)

問 投票所が3か所減つてどれくらい減額になつたか。

答 前回の選挙従事者が105人、今回が87人。その人件費と他に備品などが減つているので約80万円減額となつてている。

条例

議員発議

宇美町一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部改正

公務の能率的運用を確保するための任期付職員を採用するに当たり、当該職員に支給する給与の特例等を定める。

(賛成11…反対1で可決)

※任期付職員とは、弁護士、公認会計士等、高度な専門的知識を有するもの、または育児休業中の職員補てんとして期間を限つて従事させる職員。

賛成討論

藤木 匠 議員

道路整備事業の補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見

提出者 藤木 古賀ひろ子 議員
藤野 華嗣 議員
飛賀 貴夫 議員

適にするためには早急に予算措置されることを望む。

道路整備に必要な予算の確保に関する次の事項の実施について強く要望する。

①地方が必要とする道路整備予算を安定的に確保すること。

②道路財特法による補助率等の嵩上げ措置について、平成30年度以降も現行制度を継続すること。

黒川 悟 議員

当町の主要道路の整備に伴い、早急に近隣地域での渋滞解消ができるよう、道路整備事業の補助率等の嵩上げの継続を求める。

飛賀 貴夫 議員

道路は、地域の発展や経済社会を支えるとともに、災害時には町民の命を守るライフラインとして機能するなど、欠かすことのできない社会基盤である。

反対討論

鳴海 圭矢 議員

生活道路の整備には賛成するが、これまでの経過で予算がもっぱら大型事業に使われてきているので、賛成できな

問 投票所の変更に伴い、混亂等はなかつたか。

投票所の変更については、ホームページ、回覧板、選挙公報等にも載せており、特別、苦情は把握していない。

(全員賛成で可決)

(賛成11…反対1で可決)

飛賀 貴夫 議員

道路は、地域の発展や経済社会を支えるとともに、災害時には町民の命を守るライフラインとして機能するなど、欠かすことのできない社会基盤である。